


学校司書から


ナイチンゲール

生誕(せいたん)200年



5月12日は
イギリスの看護師、
ローレンス・ナイチンゲールの生誕
200年をむかえます。

日本では
「白衣(はくい)の天使」の
イメージが強いですが、
さまざまな分野(ぶんや)で
大きな功績(こうせき)
を残した人物です。



今日は、
5月8日の朝日小学生新聞に
掲載(けいさい)された、
新型コロナウイルスにも
通ずる、
ナイチンゲールの
教えを
皆さんに紹介したいと思います。




ナイチンゲールは

1820年、イギリスの裕福(ゆうふく)な
家庭に生まれました。

当時(とうじ)は上流階級(かいきゅう)の
女性が働くなんてとんでもないと
考えられていた時代です。


しかし、ナイチンゲールは家族の反対を
押し切って、

看護(かngo)の仕事を
志(こころざ)しました。




1854年、イギリスがロシアと戦う
クリミア戦争に参戦すると、
ナイチンゲールは
戦場の病院で働きました。

この時、不衛生(ふえいせい)だった
病院内をきれいにして、薬や衣服なども
届けてくれるように、
軍隊の偉い人に
うったえました。




その結果、4割以上だった
兵士の死亡率は、
1割以下にまで減ったと
言われています。

その仕事ぶりが
多くの人からたたえられ、
ナイチンゲールを有名にしました。




ナイチンゲールが活躍した時代、
多くの人々が感染症(かんせんしょう)で
亡(な)くなっていました。

感染症(かんせんしょう)には
必ずその原因となる
病原体(びょうげんたい)がある
ということがわかったのは1882年です。
しかし、ナイチンゲールは
1860年代から、「感染症は予防できる」と
主張(しゅちょう)していました。




『部屋(へや)を
清潔(せいけつ)に保(たも)つ、
患者(かんじゃ)同士(どうし)が
密集(みっしゅう)しないようにする、
新鮮(しんせん)な空気を
取り入れる。』

ナイチンゲールがうたっていたことは、
今の感染症(かんせんしょう)対策(たいさく)
とほぼ同じです。



クリミア戦争から帰国したあとの
ナイチンゲールは、
寝たきりの生活を送ることが
多かったそうです。

しかし、そんな中でも、
本を書いたり、病院の建設に
たずさわったり、
看護師(かんごし)を育てたりと、
幅広く活躍しました。



現代は、
新型コロナウイルスのような
感染症(かんせんしょう)が
世界規模(きぼ)で
広がるようになってきていますが、
一人ひとりにできることは変わりません。

暮らしを整えることこそが、
ナイチンゲールが
うたえる究極(きゅうきよく)の
メッセージです。

『清潔(せいけつ)、
栄養(えいよう)、
睡眠(すいみん)、
運動(うんどう)』という

ふだん通りの生活を
大切にして、
感染をふせぎましょう。

学校司書から

ナイチンゲール
生誕(せいたん)200年

希望をともに作りだす 横浜市立豊田小学校

ナイチンゲール せいたんねん
生誕200年

5月12日はイギリスの看護師、ローレンス・ナイチンゲールの生誕200年をむかえます。日本では「白衣の天使」のイメージが強いですが、さまざまな分野で大きな功績を残した人物です。

今日は5月8日の朝日小学生新聞に掲載された、新型コロナにも通ずる、ナイチンゲールの教えを皆さんに紹介したいと思います。

ナイチンゲールは1820年、イギリスの裕福な家庭に生まれました。当時は上流階級の女性が働くなんてとんでもないと考えられていた時代です。しかしナイチンゲールは家族の反対を押し切って、看護の仕事を選びました。

1854年、イギリスがロシアと戦うクリミア戦争に参加すると、ナイチンゲールは戦場の病院で働きました。この時、不衛生だった病院内をきれいにし、薬や衣服なども届けてくれるように、軍隊の傷い人にうたえました。その結果、4割以上だった兵士の死亡率は、1割以下にまで減ったと言われています。その仕事ぶりが多くの人からたたえられ、ナイチンゲールを有名にしました。

ナイチンゲールが活躍した時代、多くの方が感染症で亡くなっていました。感染症には必ずその原因となる病原体があるということがわかったのは1882年です。しかし、ナイチンゲールは1860年代から、「感染症は予防できる」と主張していました。

『部屋を清潔に保つ、患者同士が密着しないようにする、新鮮な空気を取り入れる。』
ナイチンゲールがうたっていたことは、今の感染症対策とほぼ同じです。

クリミア戦争から帰国したあとのナイチンゲールは、憂たきりの生活を送ることが多かったそうです。しかし、そんな中でも、本を書いたり、病院の建設にたずさわったり、看護師を育てたりと、幅広く活躍しました。

現代は、新型コロナウイルスのような感染症が世界規模で広がるようになってきていますが、一人ひとりにできることは変わりません。暮らしを整えることこそが、ナイチンゲールがうたえる究極のメッセージです。

『清潔、栄養、睡眠、運動』というふだん通りの

生活を大切にして、感染をふせぎましょう。

学校司書から

ナイチンゲール
生誕(せいたん)200年